



photo by Sphi CC-BY-SA, from Wikimedia Commons

# コウボク（厚朴）

## 語源

モクレン属 *Magnolia* マニョーリアは、フランスの植物学者マニョール (Pierre Magnol、1638-1715) から来ている。マニョールはモンペリエの王立植物園の園長を務め、植物分類において「科」(familia)という言葉をもっとも最初に使った。後に、フランス人植物学者のプルミエ (Charles Plumier、1646-1704) が、マニョールの業績を讃えて、マルチニーク島で見出した樹木 *Magnolia dodecapetala* の属名を、マニョーリアと命名した。日本では、この語の英語化した発音のマグノリアの方が一般に広まっている。種小名 *obovata* は、ラテン語 *ovum* オウウム「卵」の形容詞形で、「卵円形の」という意味。木の葉が卵円形をしているため。

## 基原

*Magnolia obovata* Thunberg (*Magnolia hypoleuca* Siebold et Zuccarini)

ホオノキ (朴の木)

*Magnolia officinalis* Rehder et Wilson

シナホオノキ (支那朴の木)

*Magnolia officinalis* Rehder et Wilson var. *biloba* Rehder et Wilson

オウヨウコウボク (凹葉厚朴)

モクレン科 落葉高木

中国では厚朴とは「シナホオノキ」の樹皮を指した。日本ではホオノキを「和厚朴」、シナホオノキを「唐厚朴」と区別することがある。



## 薬用部分

樹皮

## 産地

中国、日本

## 主な成分

精油： $\alpha$ -オイデスマール、 $\beta$ -オイデスマール  
フェノール類： マグノロール、ホオノキオール

## 主な薬効

鎮痛、鎮痙

## 代表的処方

漢方処方用薬であり、健胃消化薬、瀉下薬、鎮咳去痰薬とみなされる処方及びその他の処方に配合されている。また、芳香健胃薬として、あるいは腹痛などに、いずれも配合剤として用いることがある。

## 【半夏厚朴湯】

ハンゲコウボクトウ

体力中等度をめやすとして、気分がふさいで、咽喉・食道部に異物感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴う次の諸症： 不安神経症、神経性胃炎、つわり、せき、しわがれ声、のどのつかえ感  
(処方内容) 半夏／茯苓／厚朴／蘇葉／生姜

## 【麻子仁丸】

マシニンガン

体力中等度以下で、ときに便が硬く塊状なもの次の諸症：便秘、便秘に伴う頭重・のぼせ・湿疹・皮膚炎・ふきでもの(にきび)・食欲不振(食欲減退)・腹部膨満・腸内異常醗酵・痔などの症状の緩和  
(処方内容) 麻子仁／芍薬／枳実／厚朴／大黄／杏仁／(甘草)

## 【五積散】

ゴジャクサン

体力中等度又はやや虚弱で、冷えがあるもの次の諸症： 胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、更年期障害、感冒  
(処方内容) 茯苓／蒼朮／陳皮／半夏／当帰／芍薬／川芎／厚朴／白芷／枳殼(実)／桔梗／乾姜／生姜／桂皮／麻黄／大棗／甘草／香附子

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp